

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ミャンマー連邦共和国

日付：2021年10月28日

報告書名：平成31年度日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

平成31年度日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

事業名	ミャンマーカレン州東部および南部におけるコミュニティリソースセンターを通じた復興・再定住支援事業（第2年次） The Project for Rehabilitation and Resettlement through Community Resource Center in Eastern and Southern Kayin state, Myanmar	
事業対象地	ミャンマー連邦共和国カレン州ミヤワディ郡、コーカレイ郡	
事業期間	2020年3月31日～2021年7月31日	
公的資金種別	平成31年度 日本NGO連携無償資金協力	
総支出額	総支出：82,221,023円	
プロジェクト目標および、その達成度	「対象村の住民の復興・再定住に必要な情報及び学習リソースへのアクセスが改善される」ことをプロジェクト目標として事業実施した。対象村のレパトー村、メラトゥー村およびタワトー村に建設したコミュニティー・リソース・センター（CRC）の開所から事業終了までの期間は約7か月間であり、この間の登録者住民（大人、青少年）とセンターを利用する子どもに対し、必要な情報へのアクセス状況等について簡易質問表にて確認を行った。新型コロナウイルスの影響により対面での聞き取り調査は不可能であった。対象者は3カ村の大人登録者や子どもだったが、「配架されている図書は自分の関心と合致し、必要な情報を得ることに適している」「CRCから新たな知識や技能などを得ることが出来ている」との回答が全員から得られた。よって、プロジェクト目標であるCRCを基点とした情報および学習リソースへのアクセスは改善されていると考える。しかしながら、この間COVID-19や軍事クーデターにより計画した活動が実施できなかったことや、CRCサービスや活動の提供における制限が生じ続けるなど、外部要因による制約があった。	
実施内容概要	(1) コミュニティリソースセンター（CRC）建設 対象村3村へCRCを建設し、本棚、パソコン等の備品を配置した。また、CRC運営委員会を組織し、運営委員とCRC職員へ施設維持管理研修を実施した。	
	(2) CRC運営のための能力強化 CRC運営委員会へ運営研修を、CRC職員へサービス実践研修を、両者に移動図書館活動研修を実施した。また、コミュニティ学校へ学校図書コーナーの研修会を実施した。	
	(3) CRCでのプログラム（サービス・活動）提供 CRCを開所し、図書の貸し出し、PCや掲示板を活用した情報提供、読み聞かせや文化活動、会議室の貸し出し、CRCでのイベントの開催を行った。また、公立学校やコミュニティ学校10校へ学校図書コーナーを設置した。	CRC利用者数： 16,183人

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ミャンマー連邦共和国

日付：2021年10月28日

報告書名：平成31年度日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

	<p>(4) ネットワーク構築 関係者と会議を持ち、各アクターの活動紹介、CRC との連携構築に向けたアイデアを共有した。</p>	
成果	<p>(1) CRC 建設 <u>「情報・学習リソース提供のためのコミュニティ施設（CRC）が建設される。」</u> 各村にて CRC 運営委員会（9名から10名/村）を組織してキックオフ会議を開催した。各村にて CRC の建設が完了し、CRC 内へ本棚、机、椅子など、タイ側またミャンマー側で購入した備品を設置した。開所後は当会とも連携を持ちながら CRC 運営委員会を中心に運営を行っている。</p> <p>(2) CRC 運営のための能力強化 <u>「CRC 運営に必要な能力強化がされる」</u> 各村の管理委員会関係者に対し質問調査を実施し、研修後では全体の 80%が運営方法を理解したと回答。併せて、CRC でのサービス提供に関する技術についても、研修を経て全体の 100%が理解したと回答した。また、移動図書館活動研修では全体の 89%が、学校図書コーナー研修では全体の 89%が理解したと回答した。</p> <p>(3) CRC でのプログラム（サービス・活動）提供 <u>「CRC でのプログラム（サービス・活動）が提供される」</u> 全ての村において CRC の認知度を図る調査を実施した結果、CRC の認知率は 100%であった。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大と軍事クーデターによる移動制限により、調査数に制限が生じた。</p> <p>(4) ネットワーク構築 <u>「CRC 活動のためのネットワークが構築される」</u> 各村において内部アクター3~4団体を選定し、ネットワークを構築した。</p>	
課題と対応策	<p>新型コロナウイルスの感染拡大および軍事クーデターの影響によりタイ側からの難民帰還プロセスは止まっており、また政治的要因からタイーミャンマー国境での事業実施が困難になることが予想される。</p>	